

平成30年7月豪雨における浸水対策の効果事例について

○岡山市では、過去最大の24時間降雨を記録した平成23年の台風12号により、大規模な浸水被害が発生した地区などを中心に下水道の整備による浸水対策を実施

○笹ヶ瀬川左岸側流域では当新田ポンプ場ほか2カ所のポンプ場等を整備

○平成30年7月豪雨では過去最大の48時間降雨を記録したが、対策を実施した排水区（西・芳田・浦安）では浸水被害を大幅に軽減、一方、未対策区域である今保地区では浸水が発生



北長瀬ポンプ場(西排水区)
平成24年7月 稼働開始
排水能力 200m³/min

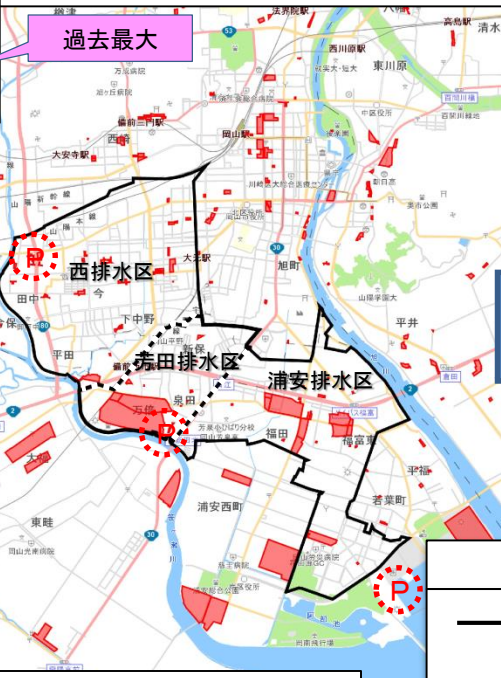


当新田ポンプ場(芳田排水区)
平成28年3月 305m³/min増強
排水能力 955m³/min



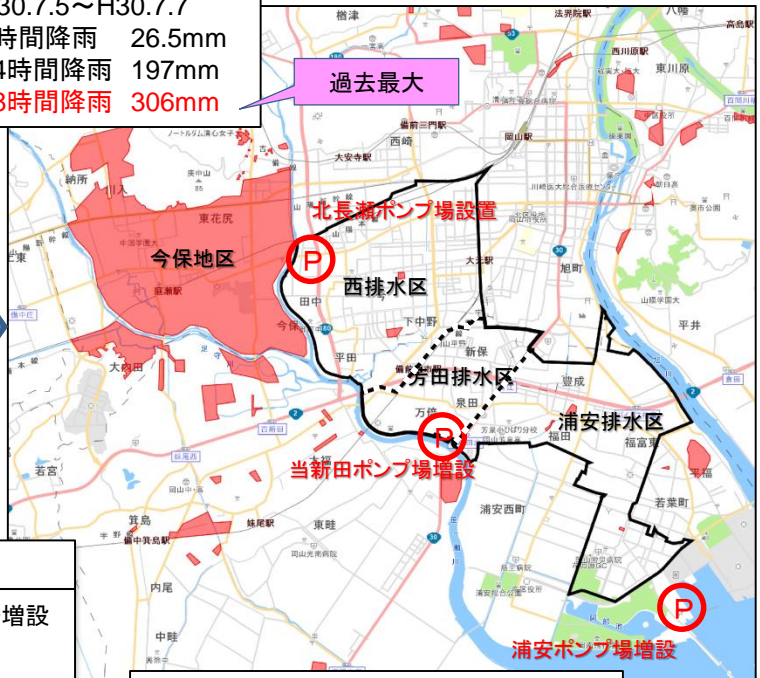
浦安ポンプ場(浦安排水区)
平成27年3月 356m³/min増強
排水能力 792m³/min

H23.9.2~H23.9.4
1時間降雨 24.5mm
24時間降雨 198mm
48時間降雨 213mm



過去最大

H30.7.5~H30.7.7
1時間降雨 26.5mm
24時間降雨 197mm
48時間降雨 306mm

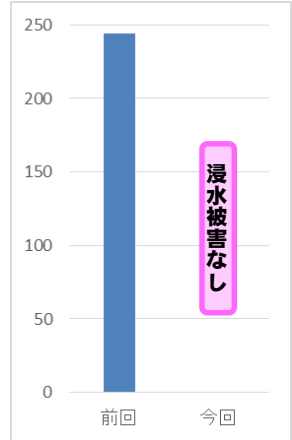


過去最大

凡例

- ポンプ場増設排水区
- 浸水区域

芳田排水区における浸水戸数(床上・床下)



当新田ポンプ場を整備した芳田排水区は、過去最大の48時間降雨が発生したが、浸水被害報告が0件

H23年台風12号での浸水区域

H30年7月豪雨での浸水区域